



みくびじぐだより

発行 御首神社社務所

御挨拶

拝啓 師走の候、皆様方におかれましては愈々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

天皇皇后両陛下に於かせられましたは、本年十月一日「関東東北豪雨」による被災地お見舞いのため、茨城県に行幸啓遊ばされました。悲しくも一人の方が命を落とされました堤防決壊現場にて、陛下は冷たい雨の降りしきる中傘もささずに黙礼なさいました。また、被災者が避難生活を送る施設にもご慰問になり、被災者と直接のご懇談では「復興に向かって進んで行かれるよう願っています」と労りの言葉をおかけになられ、救助活動に尽力した自衛隊、警察、消防等の関係者らにも慰労の言葉をお述べにられました。私共はこの大御心に少しでも報い奉ることを念頭に置かねければなりません。この度の被害に遭われました皆様方には、心からお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、皇太子殿下に於かれましては、「第三十九回全国育樹祭」（揖斐川町谷汲名礼）に御臨席賜りました。殿下は式典の中で「災害に強い森林・森林の多面的重要性・森林生育技術の継承」を説かれ、この活動が当地から世界へ、そして未来に繋がる事を強く願われお言葉を結ばれました。神社界におきましても、「鎮守の杜」を取り巻く環境は日に日に厳しくなっておりますが、氏子・崇敬者の皆様方と共に相互理解を深め、次世代に「変わらない鎮守の杜」を引き継ぐべく、尚一層尽瘁せねばならない想いに駆られました。

現在、新年を清々しく迎えられますように、職員一同万全の正月準備を進めております。皆様方には、御首の大神様の御徳を漏れなく拝受され、愈々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

宮司 三浦 篤

祭事報告

西宮神社（相殿社）例祭

七月十七日



当神社の西宮神社は、商売繁盛事業繁栄の御神徳で有名な兵庫県西宮市に御鎮座されます西宮神社より御分霊を賜り、蛭子命をお祀りしております。（本殿内向かって左側に「ご鎮座」）

当日は、宮司以下祭員により、滞りなく斎行致しました。

未廣稻荷神社（境内社）例祭

八月九日

京都の伏見稻荷神社より御分霊を賜り、宇加之霊をお祀りしてお

ります未廣稻荷神社の例祭を滞りなく斎行致しました。

拜殿前に続く参道には、総代役員を始め多くの崇敬者のご参列があり、氏子地区の子ども等が趣向を凝らして描いた行灯が両側に多数掲げられ、例祭に華を添えていました。

午後五時半からは、子ども夏祭りが開催され、子供達の賑やかな声が境内一円に響き、午後六時を過ぎますと、一斉に行灯にロウソクの柔らかい火が灯り幻想的な雰囲気醸し出しておりました。



夏越大祓

八月九日



大祓式は、晴天に恵まれ多くの崇敬者が見守る中、厳肅に執り行われました。この神事は、知らず知らずの内に受け犯した罪や穢れを祓い清め、災厄から逃れ幸福を得んとするものであり、清浄を重んじる神道においては、古来から変わらぬ大切な年中行事の一つに数えられております。

大祓式斎行後、古式に従い茅の輪をくぐり、拜殿前で二礼二拍手一礼を行い神事が納まります。

尚、皆様が罪や穢れを託された人形は、祭員により忌み火にてお焚き上げいたしました。

長寿祈願祭

九月十五日

旧敬老の日に当たる九月十五日に、大垣市宇留生地区の長寿会在籍の皆様をお招きして、ご神前にて益々のご健康と御長寿をご祈念いたしました。



神明神社（境内社）例祭

十月十七日

天照大御神をお祀りするお社で、本殿の北西に鎮まります。定刻、滞りなく例祭を斎行いたしました。

崇敬会大祭

十一月三日

崇敬会大祭は、御首の大神様に無病息災や家内安全等の御守護を戴く、崇敬会会員のための一年に一度の大祭であります。



当日は県内外より多くの会員の方がご参列になり、久しぶりの再会を喜んでおられました。祭典では参列された崇敬会員のお名前を祝詞の中で読み報じられました。また、神事斎行後には各自金幣串を奉りて拝礼頂き、大祭祈禱神符並びに大祭記念品が授与されました。



新嘗祭

十一月二十三日

秋の稔りに感謝し、今年の初物を神様に食して頂き、ご皇室の繁栄・併せて国家の安泰を祈願いたしました。

祭典のお供え物の内、左画像中央の稲穂は今年の春先に神饌田にて宮司自ら手植えしました苗を、職員が手探りで育ててきました稲穂でございます。



収穫量は、僅かではございますが、ご祈禱をお受けになられた方々に撤下品（おさがり）としてお頒けしております。

この時期には、崇敬者の皆様から「今年のお米が獲れました」・「新米をお供えして下さい」と相繼いで奉納して頂き、大切にご神前にお供えさせて頂いております。

七五三詣り

十月中旬より



今年も十月半ばを過ぎると、可愛く着飾ったお子様の手を引いたご家族が、七五三のご祈禱をお受けになられました。

特に、十一月十五日（日）には、多くのご家族が七五三詣りにお見えになり、境内は華やかな衣装と子供達の元気な声で満ち溢れとても賑やかでした。

また、境内参道沿いにあります七五三参拝記念看板の前には、記念撮影待ちのご家族の列が夕刻まで出来ておりました。

諸祭典（抜粋）

月次祭

毎月 一日 二十日

崇敬会からのご奉納

一、御首神社鳥居前特大幟

(一対)



一、末廣稻荷神社参道幟

(二対)



一、拜殿西側壁代

(一垂)



ご奉納ありがとうございました。

神社について

『手水舎』



神社で参拝する際は、まず鳥居をくぐり参道を進みます。神社の境内には「手水舎（てみずや）」がごさいます。屋根と柱のみの建物の中に、龍の口から出でたる流水を満たした水盤が置かれ、柄杓が備え付けられている事が多いかと思えます。中には、建家も無く蛇口だけの簡易的なものもありましよう。語源は手を洗う水を「てみず」と称したことから名付けられたと言われており「ちよこずや」とも読んだりします。

手水は、参拝に先立ち手と口を濯ぐことで身体と心を清めることを意味しており、「楔（みそぎ）」を簡略化したものと言われております。

神職は神事の前に「潔斎（けつさい）」（湯水で身体と心を清める）を行い、更には祭典直前にも「手水の儀」をいたしますが、その場合は手水具（手水桶・水受・拭紙及び拭紙受）を設けて執り行われます。但し、神社によっては手水舎で行う場合もあります。

古くは、伊勢神宮の五十鈴川のように湧水や川の清水が神拝に先立って利用されて参りました。しかしながら、全ての神社に必ずしも湧水や川があるとは限りませんので、手水舎が建てられたとも言われております。また「手水なくして参拝叶わず」とも申しまして手水の重要性を示しております。皆様も神社にご参拝の折には手水作法に従いまして、丁寧に手水を行われ、身体も心も共に清められましてから御神前にお進みいただく为宜しいかと存じます。それでは、一般的な手水の作法を下のイラストで紹介させていただきます。

手水の作法

まず、右手で柄杓を持ち、手水鉢から水を汲み、左手にかけて清めます。



次に、左手に柄杓を持ち替え、右手にかけて清めます。



あらためて右手で柄杓を持ちなおし左手に水をため、その水で口をすすぎます。最後にもう一度左手にかけて清めて、柄杓を元の位置に戻して終わります。



崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上の諸病を憂うる者此の社に願えば靈験あらたか」と伝わりし御首神社の御神徳に感謝し、「ご家族の諸病平癒・無病息災・家内安全生業繁栄並びに子孫繁栄を願う崇敬者の会として設立されました。

入会を望まれます方は、社務所までご一報下さい。早々に案内資料をご用意させていただきます。

会員の特典（抜粋）

- ・入会報告祭の実施
- ・誕生特別祈祷の実施及び祈祷神符の授与
- ・主要祭典のご案内
- ・昇殿参拝

会員の種類と年会費

個人	三千元
家族	五千元
特別	一万円
法人	二万円
名誉	三万円

お問い合わせ先
神社社務所まで
〇五八四 九一 三七〇〇

新 お守りのご紹介



開運十二支御守(全十二支有)
初穂料七〇〇円



学業御守
初穂料五〇〇円



合格御守
初穂料八〇〇円



健康御守
初穂料七〇〇円



厄除御守
初穂料七〇〇円



八方除御守
初穂料七〇〇円



学業・交通安全御守(他四色有)
初穂料一,〇〇〇円



安産御守
初穂料七〇〇円



交通安全御守
初穂料五〇〇円



新しい年を迎えるにあたり、九種類のお守りが新たに謹製されました。
尚、「病氣平癒御守」・「交通安全絵馬」・「むすび御守」・「祈願絵馬」につきましては、従来通りお受け頂きます。

【注意】合格御守は、十二月中頃になります。

新年 授与品・縁起物



祈願絵馬
初穂料 500円



さくら鈴
初穂料 500円



干支土鈴
初穂料 800円

その他多数の授与品・縁起物(数量限定)がございます

八方ふさがりの皆さん

平成28年 八方ふさがり早見表



高島暦参考

昭和	10年生
	19年生
	28年生
	37年生
	46年生
平成	55年生
	元年生
	10年生
19年生	

抜粋

ご祈禱をお受けになり
健康な毎日を
過ごしましょう

平成28年 年祝い早見表(数え歳)

古稀	70歳	昭和 22年生
喜寿	77歳	昭和 15年生
傘寿	80歳	昭和 12年生
米寿	88歳	昭和 4年生
卒寿	90歳	昭和 2年生
白寿	99歳	大正 7年生

年祝いの皆さん

祭事案内

年越大祓

十二月三十日

神事は拝殿前にて齋行致します。皆様が、新しい年を気持ちよく迎えるために、知らず知らずの内に受け犯している罪・穢れを人形（ひとがた）に託し、忌み火を以て焚き上げます。

人形は社務所・拝殿等に用意してございますので、是非ともご参拝の際に人形に必要事項をご記入の上、身体を撫で息を吹きかけ、専用封筒（左の画像参照）でお志しと共に社務所へご提示下さい。



左義長

一月十五日

一年間ご守護頂きました御神符や御守に併せ、注連縄・注連飾りの類にいたるまで、感謝を込めてお焚き上げいたします。

淨火祭

二月三日

ご祈禱を受けられた方々の金幣串や紅白串をはじめ、皆様が祈願奉納されました絵馬や帽子を忌み火にてお焚き上げいたします。

当日に限り、各ご家庭で不要になりました帽子もお焚き上げいたします。（午前中に限ります）

例大祭

四月二日

当社社で最も大切に、一番大きなお祭りになります。午後三時の神事には神社庁より献幣使をお迎えし、厳かに齋行されます。

また、当日朝には子供神輿が巡幸し、境内には露天が並び、特設舞台では氏子区域の子ども達による打ち囃子の披露等が行われ、終日賑わいを見せます。

諸祭典（抜粋）

月次祭

元旦祭

祈年祭

鎌山神社例祭

南宮神社例祭

お田植え祭

農休祭

平成二十八年

初祈禱のご案内



初祈禱は、元旦祭終了後（元旦午前零時半頃）よりお仕えいたしております。

毎年、多数の皆様が我先にと御祈禱（家内安全・商売繁盛・各種受験合格・病氣平癒祈願など）をお受けになられております。輝かしい年の初めに、ご家族お揃いでお参り下さい。

正月御供 鏡餅料 受付中です

正月御供（一月末まで受付）
・酒類・お餅・米・野菜・果物
・菓子など

鏡餅料（十二月末まで受付）



・正月三日間、鏡餅を御神前にお供えいたします。千円以上のお申込となっております。

＊お下がりが授与されます。
＊郵送・書留等による申込受付中。詳細は社務所まで。

平成28年 厄年表（数え歳）

	歳	前厄	本厄	後厄
男	61歳	昭和32年	昭和31年	昭和30年
	42歳	昭和51年	昭和50年	昭和49年
	25歳	平成5年	平成4年	平成3年

	歳	前厄	本厄	後厄
女	37歳	昭和56年	昭和55年	昭和54年
	33歳	昭和60年	昭和59年	昭和58年
	19歳	平成11年	平成10年	平成9年

編集後記
今号は「新お守りのご案内」頁を繰り入れましたので、「神職への質問Q&A」を休載しております。

岐阜県大垣市荒尾町二二八三の一
御首神社社務所
Eメール syamsyo@mikubi.or.jp
TEL(〇五八四九一 三三〇〇)